

## 境特別支援学校 芸術部の作品展

15日まで、ふれあいの里

県立境特別支援学校（境町塚崎）に通う芸術部の生徒7人が、日頃の活動の成果を発表する「第7回さかとく展」が11日、境町栗山の町ふれあいの里ギャラリーで始まった。15日まで。会場には、同校中学部3人、高等部4人の部員が大胆な筆さばきや個性豊かな色使いで仕上げた自画像な

生徒たちの力作が展示されている「さかとく展」＝境町栗山



ど約100点を展示。書を中心に、アクリル画、水彩

画をズラリと並べる。隸書体や草書体を崩した文字で絵を描くように書いている書などもあり、来場者の目を引いている。

同町内で開催するのは初めて。同校講師で芸術部の田中千夏顧問は「芸術部は自由な発想で、伸び伸びと活動している。みんなで協力して作り上げた一年間の活動の成果を見ていただきたい」と来場を呼び掛けている。午前9時～午後5時（15日は午後4時まで）。